

《各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介します》

会津支援学校のキャリア教育の目標として、希望する生活や進路を自己決定・自己選択できる力の育成があります。

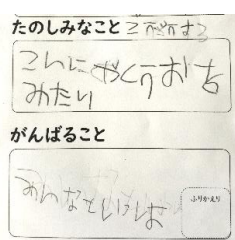
生活に必要な情報を収集し、自己決定・自己選択できるような力をつけていく取組を紹介します。

- ➡ **高等部** 社会の様々な情報やサービスを知る。自分で解決できるかどうか判断し、適切な人に相談する。
- ➡ **中学部** 生活に必要な情報を知り、活用する。困ったときには、自分から状況を伝える。
- ➡ **小学部** 生活に必要な身近な情報を知る。困ったときには、身近な人に助けを求める。

「キャリア発達の視点で児童生徒の能力を育てる」という意識で、同じ能力を段階的に積み重ねます。

<小学部>

小学部6年生は修学旅行の事前学習として、見学先の水族館について調べました。タブレット端末でホームページを見て、教師と話し合いながら行きたいエリアや見たい生き物を決めました。ホームページの見方が難しいときには教師に相談しながら学習を進めました。



珍しい生き物の姿に興味をもち、「色がかわいいからコンニャクウオを見たい。」「クラゲがかわいい。」などの感想が聞かれました。一方、「カラスエイを見つけない。」など、調べた内容から当日の目標を考えることもできました。修学旅行の当日にお休みのコーナーがあることをホームページで見付け、見学できないことに自分で気が付く児童もいました。



<中学部>

中学部3年生は、9月19日(木)～20日(金)に修学旅行を実施しました。事前学習では、水族館にはどこに何があるか、どんな魚がいるのかなどを、パンフレットやタブレットを使い興味をもちながら楽しそうに調べました。また、修学旅行で頑張ること、楽しみにしていることを自分で決めました。決めたことを声に出して、「時間を守る。」「自分のことは自分です。」「水族館が楽しみ。」など、友達に伝える姿が見られました。



友達の頑張ることや楽しみにしていること、活動の様子を見て、修学旅行へ行くのが楽しみな生徒の表情、期待感が伝わってきました。

<高等部>

高等部1年生は、総合的な探究の時間に「会津を知ろう～私たちが住む地域について～」をテーマに会津の工芸品、食文化、歴史、建造物のどの分野について探究したいかを選択し、班別で活動しています。工芸品班では、いくつも工芸品がある中で赤べこ、起き上がり小法師、絵ろうそくの3つに絞り込み、担当工芸品について自分のタブレット端末を使って調べることにしました。11月の班別校外学習に向けて、行ってみたいお店、気になるお店を検索し、後日、プレゼンテーションをして、実際に行く場所を決定します。「先生、このお店に行ったことがあります。」「結構お金がかかりますね。」「この場所ってどの辺ですか?」「ガラスの絵彫り体験がしたくなりました。」などの発言があり、調べていく中で様々な情報を得ることができ、自分はどこに行って何をしたいのかを考える良い時間となりました。

